

磐城時報

日刊 八廿夕
編輯者 石城郡平町 堀田 弘成
印刷者 石城郡平町 堀田 弘成
發行所 石城郡平町 堀田 弘成
電話 一四七
廣告料 一行十四字 一月金拾五圓
日刊(日曜、祭日) 休刊

野崎氏と妥協せず 三氏が聲明書發表

比佐派、野崎派物別れ

比佐昌平氏と野崎滿藏氏の公認候補争ひは既報の如くで支部では妥協せしめんと努力してゐるが比佐派では野崎氏の無條件引退を主張して妥協に應ぜず結果比佐氏を公認する事になつたが之に關し若松、鷲、萩原三氏は左の如き聲明書を發表し野崎氏と妥協の意志なき事を表明した

一、前項の如き不純の事實あるにも拘はらず支部當局及び選舉委員會は之を考慮し裁定に躊躇するが如きは吾人の最も遺憾とする處なり
一、吾人は二十五日石城民政クラブに於て滿場一致決議したる事項に關しては郡同志絶對多數の意志なるを以て飽くまで之を支持しその貫徹を期す

一、本月二十五日平町有聲座に於て開催せる野崎氏等の少數會合の決議は之を否認す
一、前報の會合に於て明に野崎滿藏氏を推薦したるにも拘はらず彼等は福島支部及び選舉委員會に對し比佐昌平氏を推薦するものなりと虚偽の報告をなしたり
一、平町有聲座に於て選舉せら

木村氏が異議なく 公認に推薦されん

けふ政友會の豫選會

石城政友會では既報の如く二意を現らしてゐるといふから十八日午後二時から平町驛前有聲座に於て公認候補者豫選會を開く筈であるが、過般の幹部會に於て前代議士木村清治氏を推薦し木村氏は既に快諾する旨内民政黨石城支部に於ては比佐氏

民政公認
比佐氏に決定

及び野崎氏を推す人々は互に詮衡委員をあげ出福して支部に對し公認運動を行つてゐるが、二十七日最高幹部から天降りの比佐昌平氏を公認候補者に決定する旨言渡されたので兩派の人は夫々歸郷した。

白井博之氏の個人で 小口預金拂戻し

磐城銀行けふ開店

中町磐城銀行では二十八日午前九時から株主總會を開き昭和四年七月から十二月までの決算を附議し承認を得て散會した、同行では重役白井博之氏が個人として小口預金債務引受人となり舊年末に際して小口預金の拂戻しをなすべく大藏省の諒解を求めつゝあつたが二十七日午後大藏省から承認を與へられたので二十八日午前九時から一年數ヶ月より開店小口預金の拂戻しに應ずる事になつた、五十圓未満は全額、百圓未満は五十圓、百圓以上は百圓未満の預金者は千六百円で拂戻額約三萬圓、江名兩支店でも拂戻しを行つてゐるので舊年末に際し小口預金者は大喜びの有様である。

原町地方の舊年末
舊年末も愛兩日に迫りたるが

▲警東銀行總會 石城郡植田町警東銀行定時株主總會は二十五日午前九時から同行に於て開催四年下半期決算を行つたが同利益益金三千八百六十四圓五十六錢、前期繰越金七千二百圓五十八錢、計金一萬一千六百圓十四錢の處分方法如左。
▲法定準備金四百圓▲株主配當金三千六百八十七圓五十五錢(年五分)▲後期繰越金六千九百七十七圓六十四錢
尙ほ監査役古川傳一氏満期改選の結果再選した。

▲各町村に出張し
選舉罰則を警告
平署で總動員
警察署では二月四日から約一週間の豫定で管内各町村に警部補級の警員を派遣し各小學校に有権者を集め選舉に關する罰則方面の法規について詳細の説明をなし豫め警告を發する事になつた、警告を與へる内容は大体左の如きものである。
選舉 心得
▲議員候補者、選舉事務局長、選舉委員又は選舉事務員以外の人が演説か推薦状かによる外選舉運動をしたり選舉運動の費用を支出したりすると犯罪になります。
▲選舉事務局長以外の人が選舉委員や選舉事務局長を選任したり又は選舉事務局長を設けると犯罪になります。
▲何人も選舉運動の爲め休憩所や休憩所に似たるものを設けると犯罪になります。
▲何人も戸別訪問をするや犯罪になります。
▲何人も連続して個々の選舉人に對して面接したり又は電話をかけてたりして選舉運動をするや犯罪になります。
▲選舉権のない人が選舉事務局長や選舉委員や又は選舉事務局長になるや犯罪になります。
▲選舉運動の爲め頒布したり掲示したりする文書や圖畫の寸法色合又は頒布掲示及場所方法などについての制限を守らぬと犯罪になります。
▲金錢や品物や手形等を貰つたり貰ふ約束をしたり又貰ひ度い要求すると犯罪になります。
▲要請や接待を受けたたり受ける約束をしたり又は受けたいと

▲濱三郡カルタ會 原町カルタ俱樂部主催で来る二月七日午後五時より原町驛前伊勢屋旅館に於て河北新聞原町支局後援の下に第一回濱三郡のカルタ大會を催すとの事なるが参加者は會費五十圓を添へて河北新聞原町支局に申込みられたし。

▲當期總益金十八萬七千四百二十四圓十四錢、總損金十二萬九千八百四十八圓七十七錢、差引利益金五萬七千五百五十三圓九十七錢、之に前期繰越金三千七百七十六圓四十四錢を加へて計六萬七千三百三十圓七十七錢となり諸償却社債引當金を控除すれば四萬八千七百六十一圓六十二錢となり株主配當金三萬七千圓(年六分)積立役員賞與金等を差引後期繰越金は四千二百六十一圓六十錢である千代田礦の休山を始め經濟界の恐慌に蒙るところ極めて甚大で成績意の如くなかつたが餘剩電力を以て十一月來勿來館前に化學工業部を設けてカーバイトの製造を行ひ漸次好績を見つゝあり且次期よりは日立電力との千五百キロの契約が成立するに至つたので漸く従来の努力も酬いられ樂觀の域に達し且配當も當然増加するものと觀測される。

木炭代議員 選舉猛烈

濱三郡木炭同業組合の代議員選舉は來月一日執行定員八十名、(石城二十九名、双葉二十五名、相馬二十六名)に決定したが總選舉の前衛戦とも見られる關係から三郡共候補者が續出し百余名が入亂れて各地に接戦を演じてゐる。

▲植電定時總會 植田

▲選舉運動の爲め頒布したり掲示したりする文書や圖畫の寸法色合又は頒布掲示及場所方法などについての制限を守らぬと犯罪になります。
▲金錢や品物や手形等を貰つたり貰ふ約束をしたり又貰ひ度い要求すると犯罪になります。
▲要請や接待を受けたたり受ける約束をしたり又は受けたいと

印刷物は
加納活版所

松村 胃腸科
 専門 胃腸科
 専門 皮膚病
 院 醫學科
 (七〇一電話 町 磐 中)

江戸前季節 烏鰻料理
 平町南町平館隣り
 電話四二四番

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒
 マルソー・ブランク・白 1.10
 マルソー・ルージュ 赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

貸家案内
 柳町 同 四圓五十錢
 仲町 同 六圓五十錢
 舊城跡 同 八圓五十錢
 菅ノ澤 同 五圓
 白銀町 同 五圓
加藤營業所

明眸
 獨唱 松浪悦子 娘
 松竹蒲田巨篇... 菊地 寛原作
 演岡田時彦、栗島すみ子、高尾光子
 入場料協定
 打破本邦
 第一の破額
 料金普通
 元日四日
 迄九日
 廿九日
 廿九日
平館

浪赤
 (巻の人準田堀)
 主演者 大河内傳次郎
 光岡竜三郎
 伏見直江
 梅村香子
 葛木香一
 市川小文治
 瀨川銀潮
 其 他
 實川延一郎
 オールスタ
 ーキャスト

家具漆器商 丸ほん
 日活招待作... 大佛次郎原作
 御買上ゲ金一圓毎ニ對スル景品
 一、二等 惣桐三ツ重タンス
 二、三等 鏡臺、戸棚、本箱
 三、四、五等 共上 等景品澤山
 御買上ゲ金一圓毎ニ對スル景品
 一、二等 鏡臺、飯臺、下駄箱
 三、四、五等 共上 等景品澤山
 平町三丁目(電話三五九番)

舊二日市賣出し
 開店 午前二時
 景品山の如し
 平町五丁目角
山野邊藥局

開業以來(五十週年)の特價大賣出し
 洋家具使用は向上の一路
 緊縮時代の要求により生じた此廉價求めよ、求めよ！
 好機を逸すな
 壹圓以上五圓まで 正札の二割引
 五圓以上拾圓まで 正札の二五割引
 拾圓以上御買上は正札の三割引
特賣品
 椅子、各種事務用、店用、應用、女結髪用、各種テーブル、各種機、各種本箱洋服、本立、茶タンス、火鉢、書棚、花臺、外在庫品一切
 舊十二月廿八日より正月十日
 七日まで 新一月二十七日
 日より二月五日まで
 敷物、リノリウム、絨氈、窓簾、各種カーテン、敷物、机掛、卓子掛、裝飾品一切、廉價取次、尙窓掛、ライントカーテン、敷物、リノリウム等
出張・見積・仕附致します
 精々御利用下さい
 各學校各會社諸官衙御用達
 平町 長谷川椅子店
 二丁目

お待ちかねの
正月一日市
 平素可愛がつていた御禮に景品をまつさり
 ノート、鉛筆、万年筆、シャープペンシル、筆入紙、紙、カバン、運動員、辭書、参考書
 中等校、女學校、口頭試問入學書各種
マルトモ柴田書店
 平町四丁目

吉例初大賣出し
 午前二時開店
 品質が良く、三拍子揃つた
 値段が安く、大特價品
 御買物に對し、利良く、三拍子揃つた
 大豊當で山の如く、大景品
 お客様に萬遍なく、大景品
 先客に限り、獨特の玉手箱呈上
 大好評の福袋賣出し
中野吳服店
 電話六七番

福引時計大計賣出し
 弊店にて金壹圓以上の時計御買上の御客様に對し左の大當り福引券進呈
 壹等 金制スプス製アングル腕時計 五本
 貳等 銀制スプス製アングル腕時計 二本
 參等 銀制スプス製アングル腕時計 五本
 四等 銀制スプス製アングル腕時計 一五〇本
 五等 精工舎製目覺付置時計 二七五本
 總て空籤なしの大當り福引にて景品は弊店保證付の賣品
 平町一丁目
常盤屋時計店
 電話三三九番
 期日 舊十二月廿二日より
 新一月廿四日 十日間
 正月三日迄

金解禁後 新入荷品
謝恩第二回福引付
時計大廉賣